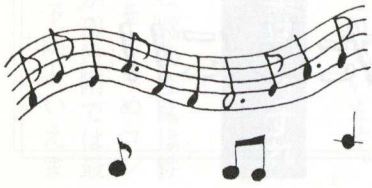


カナダ

10

(No.254号) OCTOBER



発行 金田町
編集 企画開発課
TEL 0947(22)0555(代)
FAX 0947(22)0782



- 10月号のメニュー
- 2・3頁 エイズの恐怖 (Part2)
 - 4・5頁 社会福祉センターオープン
 - 6・7頁 今月は何かあるかな
 - 8頁 じょうずな水の使い方
 - 9頁 かなだのむかしばなし(その2)
 - 10頁 学校五日制が始まりました
 - 11頁 あなたのための国民年金
 - 12頁 パノラマたがわ

住みつづけたいまち

住んでみたいいまち

カ = 感動 (よ3こびとやさしせ)

ナ = 仲良し (ふれあいと協調)

ダ = 大好き (ふるさと愛と自立)

まちづくりの
合言葉
(キーワード)

あなたのにゅーたうん KANADA

身近にせまってきたエイズの恐怖(PART2) エイズから命(家族)を守るために!!

エイズに感染するところなるか

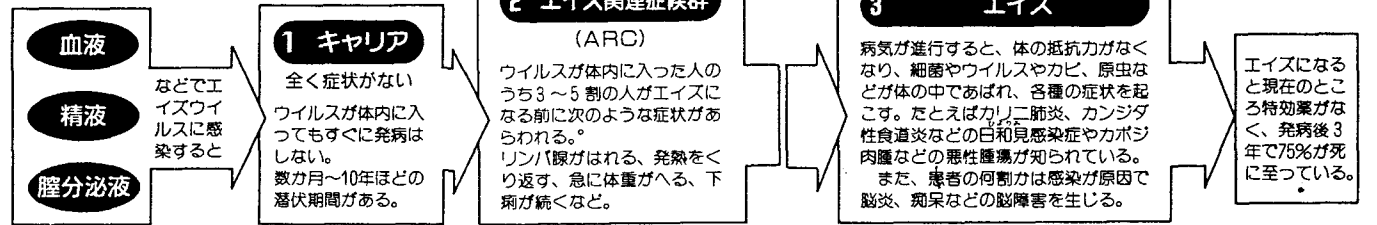
エイズウイルスに感染しても、すぐには発病しません。しかし、他の人にうつす可能性があり、行動には注意が必要です。

感染イコール 発病ではない

エイズウイルスが体内に入っても、すぐにエイズになるわけではありません。ウイルスの感染後、図のように(1)とくに症状のないウイルスの保有者(キャリア)の段階(2)エイズの前駆症状というべき、エイズ関連症候群(ARC)の段階(3)エイズの発病の順で進行します。感染からエイズの発病までには短い人では数か月、平均では8〜10年という長い潜伏期間を経て発病します。一般には感染後10年間で感染者の50%がエイズを発病するといわれていますが、最終的に感染者全員が発病するかどうかもまだ判っていません。



●エイズの進行過程●



ウイルスが免疫システムを破壊する

エイズの発病はエイズウイルスによる免疫システムの破壊によって生じます。私たちの体には、自己防御のための免疫システムがあり外から体内に侵入してきた細菌やウイルスの繁殖を防いでいます。その中で重要な役割を持っているのは免疫システムの指令官であるT4リンパ球です。



エイズウイルスは人体に侵入するとこのT4リンパ球をつぎつぎと壊してしまいきます。その結果、私たちの体を外敵から守る免疫システムが破壊され、体の抵抗力が極端に落ちていきます。そのため体内に侵入した細菌やウイルスはこぞとばかりにあちこちで繁殖し、最終的には死を招くのです。

エイズの症状にはこんなものがある

エイズの発病は一つの症状だけでなく、複数の感染症、

悪性腫瘍などが同時に現われることが多いのが特徴です。また最近ではエイズウイルスなどが原因の脳炎、痴呆、神経障害が増えてきています。なお代表的な病気は次のとおりです。

エ カリニ肺炎：カリニ原虫という微生物が肺の中に巣くうことで起こる肺炎。エイズ患者の約7割に発生しています。

イ カンジダ症：カビの仲間であるカンジダ菌が口の中、舌、食道、胃などに繁殖し、潰瘍を作る病気です。

ズ カポジ肉腫：皮膚などの特殊な部分で、身体中のどこにでもできます。

エイズに感染したらどうするか

エイズはウイルスに感染してから発病するまで症状のない状態が続きます。この時期は感染前と同じ生活を送って問題はありませんが、発病を遅らせるために定期的に医師の診断を受けること、過度の飲酒を避けるなど健康的な生活を心がけることが大切です。ただ、無症状でもウイルス

スを他の人にうつす可能性がある。性交の際にはコンドームを使用する、血液などの体液がついたものが他の人に接しないようにするなどの注意が必要です。

エイズの治療法は「いままで進んでいるか」



結論からいうと、現在、治療法の決め手になるものはありません。つまりエイズウイルスを死滅させる薬がないのです。

世界中で「抗ウイルス剤」「免疫増強剤」などの薬の研究が進められていますが、まだ効果の完全なものはなく、また長期間使用した場合の副作用の問題も残されています。

エイズの感染は「どうすれば防げるか」

エイズの主な感染経路は性的接触です。そのためコンドームの使用が現段階では最も有効な感染予防といえます。

エイズの三つの感染源

先にも述べましたが、エイズウイルスを含むさまざまな体液の中で実質的な感染源となるのは次の三種類だけです。ですからこの三種類には直接触れないようにすることが感染の予防になります。

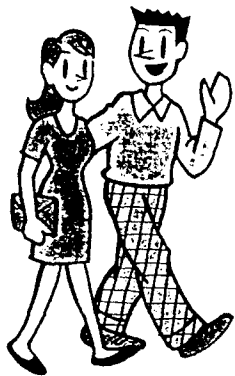
- ① 血液
- ② 精液
- ③ 膣分泌液

この中で最も感染力の高いのは血液ですが現在では日本国内の輸血用血液は抗体のチェックや熱処理がゆきとどいており、安全なものになっています。つまり、日常生活のレベルでは無防備な性交渉を避けることでエイズの感染を防ぐことができるのです。

「SAFER SEX」が予防の第一手

現時点では、エイズは性交が感染源の一つと考えられ、その予防には、「セーフティーセックス」(より安全なセックス)を守る事が大切です。具体的な行動としては、多数の人とのセックスを避けるかコンドームを使用し、出血を伴うようなセックスは避ける

だけひかえる、などです。



エイズ Q&A

Q エイズウイルスに感染しないためには、どうすればよいのですか。

A エイズは、感染者との性的接触、注射の回しうち、輸血、母子感染など、ひじょうに限られたケースでしか感染していません。その理由は①エイズウイルスが血液や精液などの体液中にしか十分量存在せず、②傷ついた皮膚や粘膜から直接体内にエイズウイルスが侵入すること

でしか感染しないものだからです。ですから、「精液や血液が直接体内に取り込まれる機会」をつくらなければ、日常生活で必要以上に神経をとがらせることはないのです。

正しいエイズの知識を身につけることこそ、もっとも効果のある感染予防といえるでしょう。

悪性腫瘍などが同時に現われることが多いのが特徴です。また最近ではエイズウイルスなどが原因の脳炎、痴呆、神経障害が増えてきています。なお代表的な病気は次のとおりです。

エ カリニ肺炎：カリニ原虫という微生物が肺の中に巣くうことで起こる肺炎。エイズ患者の約7割に発生しています。

イ カンジダ症：カビの仲間であるカンジダ菌が口の中、舌、食道、胃などに繁殖し、潰瘍を作る病気です。

ズ カポジ肉腫：皮膚などの特殊な部分で、身体中のどこにでもできます。

エイズに感染したらどうするか

エイズはウイルスに感染してから発病するまで症状のない状態が続きます。この時期は感染前と同じ生活を送って問題はありませんが、発病を遅らせるために定期的に医師の診断を受けること、過度の飲酒を避けるなど健康的な生活を心がけることが大切です。ただ、無症状でもウイルス

Q エイズは外国人や男性同性愛者の病気であって、異性間のセックスではうつらないと聞きましたか。

A あなたの知識は間違っています。現在、日本では異性間の性交が感染経路として急増しており、しかも国内で感染した例が多くなっています。今後この傾向はますます強まると考えられ、「セーフティーセックス」(より安全なセックス)が予防の最大の決め手といえます。

では感染予防にコンドームがもっとも有効です。

Q なぜ男性同性愛者はエイズ感染の危険が高いのですか。

A 男性同性愛者がかかりやすいのではなく、肛門性交が危険行為なのです。直腸は血管の集まっている場所ですが膣に比べて粘膜が薄く、強く刺激すると破れて傷が出来やすいため、ウイルスの感染は高確率になります。もちろん、異性間であってもこのことは同じです。

PART2 ■ あなたの疑問にまっすぐ答える ■

Q エイズの予防にはコンドームがいいといわれていますが、コンドームは避妊のほかに梅毒、淋病といった性病の予防に長い間使われてきました。エイズウイルスについても、コンドームを使用することで、感染の危険を少なくすることができます。エイズウイルスは精液中に多く含まれていますから、現段階

Q エイズの予防にはコンドームがいいといわれていますが、コンドームは避妊のほかに梅毒、淋病といった性病の予防に長い間使われてきました。エイズウイルスについても、コンドームを使用することで、感染の危険を少なくすることができます。エイズウイルスは精液中に多く含まれていますから、現段階

A エイズの予防にはコンドームがいいといわれていますが、コンドームは避妊のほかに梅毒、淋病といった性病の予防に長い間使われてきました。エイズウイルスについても、コンドームを使用することで、感染の危険を少なくすることができます。エイズウイルスは精液中に多く含まれていますから、現段階

